

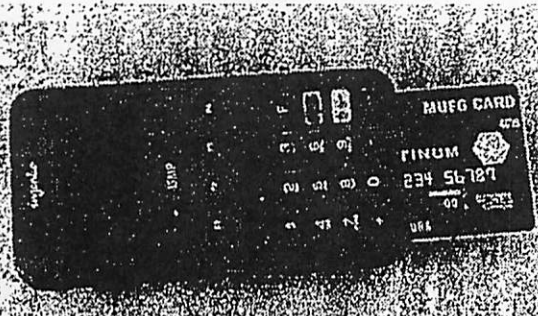
# 複数カード決済、迅速処理

## 携帯型端末を開発

### 三菱UFJニコスがベース iPhoneがベース

三菱UFJニコスは通信端末機器販売のクレメントック(東京都千代田区、和田哲哉社長、03・3262・8322)と共同で、iPhone(アイフォン)をベースに多機能のリーダーを接続した携帯型決済端末を開発、2月1日に本格販売する。IC型を含めた各種クレジットカード、銀聯カードなど複数のカードの決済処理が迅速にできる。専門店や百貨店、また店外催事などで顧客を待たせず即時にカード決済ができる。売場や営業現場の生産性が向上する。

新サービスは「ボケ・ボス・フォー・シェア」の専用リーダータイプ「iPhone」という名称で展開。携帯型決済端末は箱



iPhoneをベースにした携帯型決済端末

形の中に、アイフォーンを挿入して使用する。販売時点情報管理システム(POS)とも連動、据え置き型のレジを補完し、接客しながら決済ができるのが特徴だ。

レジの混雑緩和にも役立つという。リーダータイプ

1でカードを読み取り、顧客に暗証番号を入力してもらえば決済が完了する。価格は6万9800円、初年度3万台の販売を目指す。同端末はポイント制度にも対応しているほか、決済だけでなく、在庫状況などが分かる。店舗に

在庫がどれくらいあるかといった情報や、他店にあるか否かなどの情報検索機能を付加することもできる。また専門店や百貨店などの会員データベースとも連動、会員の購買履歴を検索することも可能で顧客管理も現場ででき

る。同社ではアイフォーンをベースにしたのはセキユリティーが高いためとしている。専門店、百貨店、高級ブランド店などの小売業のほか、ホテルやレストランなどでの使用も想定している。

コピー厳禁